

沼津中央高等学校 Student News

家庭科技術検定3冠 3年生29人 5年連続で県内最多 4冠達成は中嶋さん(北上中出身) 県内で唯一

生活文化コースの3年生29人が全国高等学校家庭科技術検定の3種目(和服、洋服、食物)で1級に合格する“3冠”を達成しました。3冠達成者数は県内の高校では5年連続で最多。また、中嶋芽さん(北上中出身)は3冠に加え、ピアノ演奏「バイエル100」と童謡「おへそのうた」の弾き歌いが課題に含まれる保育検定にも合格して4冠を達成しました。4冠の達成は県内で唯一となります。なお、この様子は静岡新聞(2月3日付)、沼津朝日新聞(2月7日付)に掲載されました。



生徒は浴衣を縫う「和服」、裏地付きのジャケットを縫製する「洋服」、卒業祝いや誕生祝いなどテーマに沿って制限時間内に料理する「食物調理」の3種目に挑戦しました。中学在学時に3冠を取りたいと考え入学してくる生徒も多く、1年生で基礎的な能力を確認する4級から検定を受け始め、徐々に級をあげていきました。授業のほか、放課後にも練習を重ね、よく努力しました。

3年間の集大成 工芸デザインコース卒業作品展

工芸デザインコースの3年生による卒業作品展を2月14日から19日まで開催しました。陶芸による造形、浴衣などの染色、コンピューターソフトを用いたイラストと手描きの絵画作品の計120点以上が展示されました。造形作品はカブトガニ、血管、シャコガイ、タコ、魔獣など独創的なものが目立ちました。一方、染色作品は7メートルの帯などに思い思いのデザインで表現していて、細かい模様をあしらった作品が多くありました。造形と染色は3年時の選択テーマで、イラストと絵画は全員が制作しました。自画像が憧れの人物を描くという課題に、憧れの人物についてはアニメの声優を選んで描いた生徒が比較的多くいました。



第14回を迎えた卒業作品展は今年も大盛況で、1000人以上の目を楽しませました。

東洋大学「現代学生百人一首」 國島さん(沼津第三中出身)が入選

東洋大学「現代学生百人一首」において、國島袖月さん(工芸デザインコース2年・沼津第三中出身)の作品「友達にとげんされた呼びすてに気づいたらもうドキドキしてる」が応募総数49,259首の中から入選作品となりました。

國島さんは「この短歌は部活動のあとの帰り道に友人と別れる際、いつもは呼び捨てで呼ばれていなかったため、慣れないことに戸惑いながらも心の中でドキドキしている様子を短歌にしました」と、この作品を詠んだ時の心情を語ってくれました。

食べ切り・使い切りレシピコンテスト 優秀賞に岩城さん(函南中出身)

沼津市主催の食品ロス削減を目的とした「食べ切り・使い切りレシピコンテスト」において、岩城榛華さん(生活文化コース3年・函南中出身)のレシピ「そうめんオムレツ」が優秀賞に選ばれました。

このコンテストは「食べられるのに捨てられてしまう食品」を削減するアイデアとして市民から「食べ切り・使い切りレシピ」のアイデアを募集するもので、審査員による一次審査で選ばれた6作品を対象に二次審査として市民投票が実施され、その得票数によって各賞が決定しました。入賞者は、2月4日(日)にキラメッセぬまづで開催された「2018ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展」の市長表彰式にて、大沼市長より表彰されました。(写真は沼津市オフィシャルウェブサイトより)



私学協会長賞ほか 各種表彰

本日の全校集会において各種表彰が行われました。私学協会長賞受賞者は、工藤彩さん(アドバンスコース3年・金岡中出身)、植松花果さん(医療・福祉コース3年・片浜中出身)、高橋真子さん(工芸デザインコース3年・長岡中出身)、川口想大君(情報ビジネスコース3年・須津中出身)、野田悠莉亜さん(生活文化コース3年・沼津第五中出身)の5名です。3年間の努力が高く評価されました。おめでとうございます。